

# センターだより

平成28年10月20日発行

発行責任者 推進センター長

にしおか会館4-5-8-21

電話・F a x 8 5 4 - 0 5 3 7

皆さん、夏の暑さは乗り切りましたか？秋が一段と深まってきました。天気の良い日は外に出かけ、残り少ない彩の秋、味覚の秋を満喫してください。センターだより第2号は、先日の『ふれ愛交流会』の特集号としてお届けします。

## ☆平成28年度『ふれ愛交流会』～大盛況で無事終了～

毎年、恒例の『ふれ愛交流会』は9月25日(日)10:30～13:00 秋晴れの下、西岡福祉地区センターで開催されました。

参加者は、ひとり暮らしの高齢者(70歳以上)の方144名を囲み、関係機関、町内会長(自治会長)が40名、お手伝いの推進員が48名、それにちびっこ空手・オカリナ演奏・西岡音頭などの出演、協力者も含めると総勢280名と大変多くの方の集まりでした。

高齢者の方の参加は過去最高を数え、中でも90歳以上の方10名が元気にご参加頂き、本当に嬉しい限りでした。

○当日の交流会の様をお伝えいたします。

交流会は、最初に、押木福まち推進センター長の開会挨拶からスタートしました。

大友副センター長の総合司会で関係機関や町内会長の紹介などの後、催しものは、個性溢れる衣裳の石川福まち事業副部長の軽妙な司会により進められました。

○催しは、先ずはいつもの健康体操(介護予防センター本間卓也さんがリード役)です。

今年は、脳のトレーニングが大事と、頭と手を使った“ジャンケン体操”で、多少の間違いや戸惑いながらも、にこやかに本間さんのリードで頭と身体をゆっくりとほぐしました。

○次は、呼び物の目玉企画「ちびっこ空手=優至会」20名が登場！

幼稚園児(保育園児)や小学1～2年生が中心の空手の猛者？が次々と舞台に登場しました。

女の子も一緒になって“エイヤー”の気合とともに、元気で可愛い懸命な演武の度に、会場は拍手の連続で「元気をもらったネ」と皆がほほえましく鑑賞しました。

会場の傍らでは、スマホを手に心配げに演武を見守る保護者の方の姿も印象的でした。

メンバーの中には、全国大会の代表に選ばれている子もおり、将来はオリンピックの活躍もと期待が膨らみました。



○続いて《オカリナ演奏》は、一転して今もなお(熟年)美男、美女?12名がお揃いの衣装と蝶ネクタイで舞台上に立ち、にしおか会館オカリナ教室の日頃の練習成果を見事に発表しました。



懐かしい思い出の曲に続き、最後は、オカリナの伴奏で「ふるさと」そして、季節にピッタリの「もみじ」を参加者みんなで合唱しました。

さらに、アンコール曲「見上げてごらん夜の星を」を聴き、大満足。私も「オカリナを習おうかな」といった声も出ていました。



○お昼のお弁当の時間、皆で“いただきます”と唱和し、弁当(札幌駅立売商会弁菜亭)をひろげ、前評判通りの押し寿司などに舌鼓みを打ちました。“美味しかったよ”と大変好評でした。

○弁当を食べ、お茶、コーヒーを飲みながらの歓談の時間では、進行役の石川さんの呼びかけに応じ、会場の高齢者からも数人が見事な歌声を会場に響かせ、町内会の歌なども紹介され、和気あいあい、大いに盛り上がった中、あっという間に時間が経ちました。



○催しの最後は、恒例の西岡音頭普及会の方々の協力で「北海盆踊り」と「西岡音頭」を、曲が進むにつれ、踊りの輪も会場一杯に広がり、食後の腹ごなしも兼ねて、にこやかに笑顔で踊りを楽しみました。

○交流会の締めは、『元気で、また、来年も会いましょう!』と押木センター長のあいさつで閉会しました。



○この『ふれ愛交流会』は、関係機関、町内会(自治会)、地域の方々のご協力を頂きながら、毎年継続して開催しております。関係者の皆様に紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

○お集まりの皆様には、行き届かなかった点多々あったかと思いますが、本当に多くの方にご参加頂きまして、心から感謝いたします。会場を後にする方から「楽しかったよ、良かったよ」との声も聞こえ、「喜んでもらえたんだな」と夏の時期からお手伝いの福まち推進員の方とともに準備に取り組んだことが、少しは報われたかとホッとしています。お手伝い頂いた推進員の方々、ありがとうございました。



### 編集後記

福まちの一大行事『ふれ愛交流会』が終わると、秋本番から一気に晩秋に向かいます。朝晩、一段と冷え込みます。健康管理に十分気を付けて、冬の準備に当たりましょう。

広報担当 山田耕三・中村三恵子